

支部探訪ー滝川

支部長 渡辺 精郎

支部結成の頃

平成二年、カメラのバビヨンに、加賀谷重雄氏や今は亡き小野木英俊氏、全日写真連からの数名が集まって、滝川にも「道写協」の支部を創ろうということになり、十名ほどで結成しました。

初代会長は九十歳近い長老の小野木英俊さんでした。彼は、すでに会友の得点を獲得していましたが、九十三歳の年に道展会員の審査員になりました。道展祝賀会の折に「九十三歳の気を貰おう」と札幌支部の女性会員に大モテでした。

平成四年からは私が支部長ですが、それまでは声別支部にお世話になっていました。

今年は二十周年記念の年

平成十二年は十周年記念の記念の年、滝川市美術自然史館を市教委の配慮で貸し切り、全紙一五〇点の作品で二週間に渡って開催いたしました。祝賀会は滝川市の教育長、空知の



撮影旅行



市民文化祭展示風景

支部長さん方、本部から当時副会長の橋本さん、加賀谷さん、内山さんなども招待し盛大に開催しました。二度とできない企画技でしょう。今年は二十周年記念をどうしようか。嬉しい悩みです。

カメラ講座のボランティアなど

毎月の例会でのコンテストは互選で年度賞をきめています。道の駅での会員写真展・撮影旅行・忘年会兼特別作品審査・入賞・入選祝賀会・市の文化祭出展などを十五名ほどの会員で仲良く運営しております。ボランティアでカメラ講座を毎年、市民向けに開催していますが、最近デジタル化で講習内容もデジタル色になってきました。専門家に依頼した年もあります。今年私が講師を担当し、最後にデジタルカメラで参加者の集合写真を写し、その場でプリンターによりプリントを仕上げ、拍手をいただきました。

ただ、パソコンにつないだプリンターは、一般市民の方には難しいようです。

写真道展に向かつて

五十二回道展で小林忠氏(現在会友)が写真道展大賞(目の前から飛び立つカワセミ)で滝川市は盛り上がり、市教委も大賞受賞の年だけ美術自然史館を無料で貸してくださいます。今後その約束です。そこで会友の推薦が大賞を目指して会員一同写真に磨きをかけています。今回も八十歳の女性会員が入選し、皆さんで祝っているところです。

紹介

ー奈良美弥子写真展ー 大地のうたが聞こえる～冬音～



日時 五月二十九日(金)～六月三日(水)
会場 富士フィルムフォトサロン札幌
札幌市中央区北三条西三丁目
札幌北三条ビルF

展示点数 全紙他約四十点
写真展によせて

実りの季節にとって大切な、晩秋から早春にかけての休息の時間に息づく大地のエネルギーを感じていただけましたら幸いです。

写真展を終えて

●女性の二瞬をモノクロで表現

滝野 邦保

モノクロ写真で女性の(へ旬)の表情を撮り続けている私は、平成十二年二月二十日から三月十日まで、小樽市築港の新日本海フェリーターミナル二階ロビーの常設ギャラリー内で初の個展「レディー・エトセトラ」を開催いたしました。

二十歳の頃から写真を始め、三十歳頃から女性を題材に本格的に撮り始め、街角などで捉えた女性の色々な仕草をモノクロ表現し、四つ切り三十点を展示しました。「自分の中の女性観を表現し、煌めく一瞬を感じ取ってほしい」との思いで撮った写真展を無事終えることができました。

●「魅せられたカムイの岳々」の個展を終えて

高橋 和幸

北海道の屋根といわれる大雪山を長年山行し、そのスケールの雄大さと自然の美しさに魅せられ、山岳写真を撮り続けてきました。今回は自然界の厳しさや高山の花々や樹木が四季おりおりに彩られる美しさの部を、全紙三十五点の作品にしてみました。

地元では大雪山の写真展は初めてとのこと、道新やNHKが報道でとり上げてくれたおかげで、担当者が驚く予想以上の大勢の方々に見ていただくことができました。特に好評だったのが、雲や虹などの神秘的な自然の姿や深紅に彩られた絨織を敷いたような紅葉でした。

ご指導いただいた点をこれからの糧として、作品作りに励んでいこうと思います。